資料４

次期最終処分場候補地選定の流れについて

年度	選定作業内容
令和元年	県が「宮城県産業廃棄物最終処分場整備基本方針」を策定【R1.11】 ↓ 【ゾーニング手法による適地抽出】 ①規制条件レイヤの作成 ラムサール条約登録湿地，自然環境保全地域，土砂災害危険箇所等，２６項目 ②抽出条件 ア　敷地面積(30ha 以上) イ　埋立容量(200 万㎥) ウ　既存道路の沿線もしくはその近隣 エ　谷筋勾配が緩やか，斜面勾配が 1:1.5 以上 ↓ 適地３１か所を選定 ← 第１回候補地選定懇話会【R2.2.20】
令和２年	【一次選定】 ①机上調査 砂防指定地，地すべり地形箇所，火山，史跡・名勝・天然記念物等，１４項目 ②現地踏査 最終処分場の立地を検討する上で重要な観点で現地を評価 ↓ ９か所を選定 （優先検討７か所，予備検討２か所） ← 第２回，第３回候補地選定懇話会【R2.6.19】【R2.8.21】 ↓ 【二次選定】※７か所を評価 ６つの評価項目について採点，順位付けし，相対評価 ↓ ３か所を選定 ← 第４回候補地選定懇話会【R2.12.24】 ↓ １か所を県が決定【R3.3 頃】 ← 候補地選定委員会（庁内）